

5月2日に、校外学習に行ってきました。

普段の登校時間よりも早い集合だったので、少し心配していましたが、そこはさすが泉北生。誰も欠けることなく、国際文化科 160 名全員が揃って校外学習に向かうことができ、教員一同安心です。



JICA 関西では、青年海外協力隊として活動されている方の経験談を聞いたり、民族衣装に袖を通したりと、異なる文化圏について多くのことを学ぶことができ、日本以外の国や地域に関心を持った生徒も多かったのではないのでしょうか。



また、関西外国語大学での留学生との交流では、たとえ流暢な英語でなくとも臆することなく「積極的にコミュニケーションを取ろう」という姿勢が伺え、さすが国際文化科だと感心させられました。交流後には、多くの生徒から「私の英語通じたよ。」「もっと英語ができるようになりたい。」という言葉が聞くことができ、本当に嬉しく思います。



その後に行われたOB・OGとの交流会では、高校時代に頑張ったことや「部活と学業をどう両立させていくのか」ということについて、先輩方の経験談を聞くことができ、改めて泉北高校の良い部分や強みといったものを知ることができたのではないのでしょうか。この交流が、「これからの三年間をどう過ごしていけば良いのか」という皆さんの疑問に対する、一つの指針を得る機会になっていることを期待しています。



今回、校外学習実施にあたって、事前に皆さんには『「校外学習」は学びの機会であり、自分自身の意識で研修の質が変わる。』というお話をしました。その目的のとおり、積極的に学び、そして楽しんでくれているように思います。今回の校外学習が、今後の方向性を考えるきっかけになった生徒もいると思います。高校生活を通して、チャレンジしたいと思ったことは是非チャレンジして下さい。そして、将来の選択肢を広げていきましょう。